

委員会活動

総務消防委員会

▼観光協会問題に係る市長の処分について議論

坂出市特別職の職員の給与の特例に関する条例制定案について、当局から、坂出市観光協会の問題に関連した職員の懲戒処分に係る監督責任等を明らかにするため、市長と副市長の3月分の給料を、それぞれ100分の5減額するものであるとの説明があった。

これに対し委員より、長年、観光協会の会長職にあった市長の減給割合が、減給10分の1の懲戒処分を受けた職員よりも低いことは納得できず、市民から不満の声も上がっており、今回の処分は容認できないとの反対意見があった。

一方、他の委員からは、処分の軽重に対する考え方は各人相違があり、すべての市民が納得する処分を求めることは困難であるとし、今後、坂出市と坂出市観光協会は法令遵守を意識する中で立て直しを図り、市民の信頼回復に努めることが肝要であるとの意見が出され、採決により原案を了承した。

教育民生委員会

▼市立病院の運営・整備等について議論

委員より、市立病院の耐震化についてただしたところ、病院長からは、第3病棟について、現病棟と同形態の建てかえでは建設は認可されず、また本館について、建物全体が老朽化しており、単純な耐震補強ではしのぐことはできないとの考えを示した上で、耐震化以前の問題として、まずは市立病院の進むべき方向を決定することが先決であり、現在の中讃医療圏及び市内の病院の動向を踏まえ、現状の医療内容と規模を維持し、市民が真に望む医療を提供していくのが最良であるとの見解が示された。

当委員会としては、現在、市立病院は、今後の事業運営を左右しかねない重大な転機を迎えているとの認識で一致するとともに、当局に対し、市民、議会及び医療現場の職員の意見を聴取する中、耐震化計画を総合的に検討し、早急を目指すべき将来像を決定するよう要請した。

環境経済委員会

▼平成21年度一般会計予算案を了承

平成21年度坂出市一般会計予算案について、審査した結果、異議なく原案を了承した。

審査過程において、委員より、中小企業融資対策補助金に関連し、世界的な不況が、昨年来、日本にも深刻な影響を与えている今日、年度末を控え、今後、ますます経済情勢の悪化が懸念されることから、中小企業等に対する支援については、市内の商店街や事業所等の状況に十分配慮しつつ、即応態勢で臨むよう要望があった。

都市建設委員会

▼室谷内線道路改良事業と坂出駅北口地下駐車場事業について反対意見

平成21年度坂出市一般会計予算案の審査過程において、委員より、室谷内線道路改良事業については、早急に整備を要する路線であるとは認めがたく、さらに、多額の予算を充てる必要性にも疑問があることから、事業の推進に反対する意見が出され、採決により原案を了承した。

また、平成21年度坂出駅北口地下駐車場事業特別会計予算案の審査過程においては、委員より、現在、北口地下駐車場と他の市営駐車場とは同じ料金体系であるが、北口地下駐車場の好立地条件や現在の良好な利用状況を踏まえ、駐車料金に差を設けるべきであり、特別会計の財政運営の改善を図るためにも、駐車料金の増額改定を盛り込んだ抜本的な見直しが必要であることから、現在の料金体系を維持したままの予算案は容認できないとの反対意見があり、採決により原案を了承した。

議会運営委員会

▼政務調査費の支出に係る領収書等の写しの提出を義務化

本市では、政務調査費について、これまででも一定のルールのもと、適正な運用に努めてきたが、より一層の透明性を確保し、市民からのさらなる信頼を得るため、領収書等の証拠書類の写しの提出の義務化を明文化する、坂出市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例案を提出することとした。

市立病院運営・整備等特別委員会

自治体病院として、市立病院が果たすべき役割、機能並びに施設整備等について調査、研究し、市民の医療福祉の向上を図るため、市立病院運営・整備等特別委員会を設置した。

委員構成は次のとおりです。

◎木下 清 ○富岡 利昭

前川 昌也 若杉 輝久

松田 実 葛西 吉弥

池田 睦雄 中河 哲郎

(◎)委員長 (○)副委員長